

人間科学科について知りたい方のための



フリーペーパー『らいふみる』



2026年版 第1号

こんにちは！らいふみるです。少しずつ春の足音が聞こえてくる季節になりました。人間科学科では、先日3月16日の学位授与式(卒業式)で、130人の卒業生が巣立ちました。逞しく成長した学生たちの姿は、何度見ても感動的なものです。人間科学科での4年間の学びを大切に、それぞれの新しい環境で元気に活躍してほしいと思います。

さて今回は、人間科学科のカリキュラムとその特徴をご紹介します。人間科学科の学びのテーマは「Life(生活・生命・人生)」です。このテーマにアプローチする専門分野や授業科目について、詳しくご紹介していきます。



学科キャラクター らいいみるくん

【人間科学科ってどんなところ？】

複眼的に「Life」をとらえ、心理・社会・身体から総合的に理解します

人間科学科では、「Life(生活・生命・人生)」が学びのテーマとなっています。私たちが生きる現代社会において、Life(生活・生命・人生)はとても複雑なものとなっていますが、人間科学科では専門分野の垣根を越えて、**心理学・社会学・身体科学**といった各分野の知を結集することにより、Lifeを多角的・複眼的・複合的にとらえることができます。また、人間科学科では実際に実験や調査を行う授業が多く用意されています。生活・生命・人生などのLifeに関わることについて、さまざまなデータに触れながら幅広く学ぶことができます。ぜひみなさんと一緒に、人間科学科で「Life(生活・生命・人生)」について深く考えていきたいと思っています。

心理学

社会学

身体科学

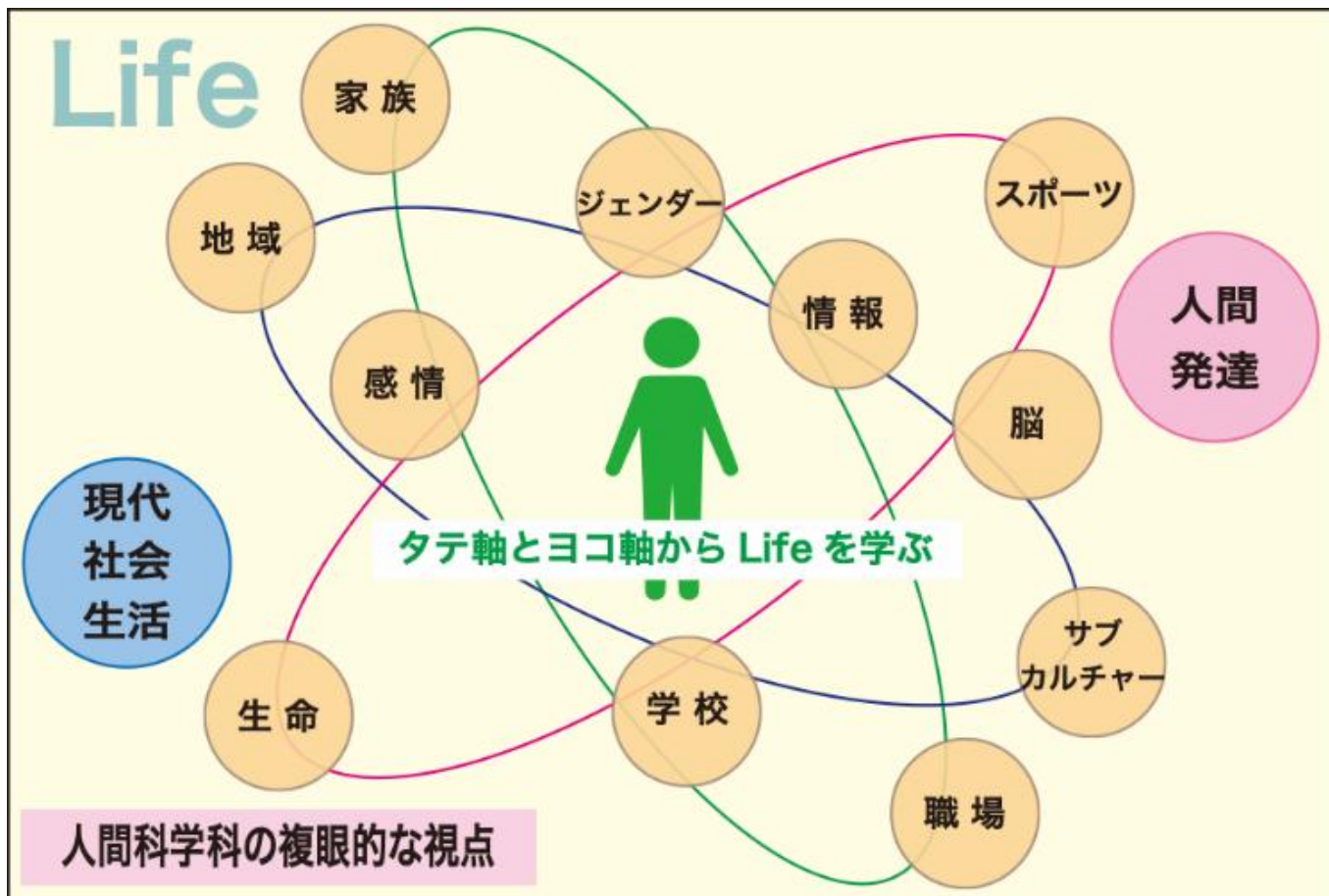
【人間科学科のカリキュラムの特色】



人間科学科のカリキュラムは、Life(生活・生命・人生)についてさまざまな側面から学ぶことができるようになっていました。主として「人間発達プログラム」と「現代社会生活プログラム」という2つのプログラムで構成されています。

各プログラムには心理学系・社会学系・身体科学系の科目が配置されていますが、「人間発達プログラム」はどちらかと言えば心理学系・身体科学系の科目を中心に構成されています。一方で、「現代社会生活プログラム」はどちらかと言えば社会学系の科目を中心に構成されています。これらのプログラムをバランス良く選択することによって、社会の流れや人間の思考を読み取り、Lifeを複眼的・複合的にとらえ、現代社会やそこで生きる人間の心理について幅広く学ぶことができます。

カリキュラムを構成する心理学系・社会学系・身体科学系科目のあいだに垣根はなく、各自の興味関心や将来の進路などに合わせて自由に履修することができます。もちろん、心理学に重点を置いた学修や社会学に重点を置いた学修もできます。こうしたカリキュラムの柔軟性が人間科学科での学びの大きな特長です。



人間科学科の授業はオープンキャンパスで実施される模擬授業で体験することができます！右記の2026年度模擬授業(予定)を参考にして、興味のある分野の授業をぜひ受講してみてください。



2026年度 オープンキャンパス 人間科学科 模擬授業(予定)	
3月21日(土)	心理学: 長谷川先生
5月31日(日)	心理学: 谷田先生
6月28日(日)	社会学: 荒川先生 心理学: 荒生先生
7月26日(日)	身体科学×社会学 :内田英二先生、澤口先生 心理学: 荒生先生
8月22日(土)	心理学×社会学 :井関先生、木村先生 社会学: 池田先生
9月12日(土)	身体科学: 内田雄先生 社会学: 畑山先生

【人間科学科の授業】



人間科学科の授業は、右下の図のように、大きく分けて3つの部門と「卒業論文」から構成されています。

「学部共通部門・基礎部門」は、主に1年次に履修する科目で、心理学・社会学・身体科学の各分野の基礎を学びます。また、「基礎ゼミナール」は、少人数のクラスで人間科学科での学び方(発表の仕方やレポートの書き方など)を身につけます。

「研究法部門」は、主に1年次から3年次にかけて履修する科目で、各分野の研究方法の基礎を学びます。また、「心理学実験基礎演習」「身体科学実験基礎演習」「社会調査演習」は、実験や調査を企画・実施し、それをもとにしたレポートの執筆までを体験的に学ぶ科目です。

「専門部門」は、主に2年次から4年次にかけて履修する講義形式で行われる授業です。「人間発達科目(A群)」と「現代社会生活科目(B群)」という2つの科目群の中から自分の好きな科目を選び、心理学・社会学・身体科学のさまざまな専門分野について学んでいきます。また、3年次に履修する「人間科学専門演習」では、少人数のゼミで特定の研究領域を深く学びます。

「卒業論文」は、4年次に履修します。人間科学科における4年間の学びの総まとめとして、自分で選んだテーマについて独自の問いを立てて、教員の指導を受けながら自分で実験や調査を行い、その成果を論文にまとめます。



人間科学科の授業一覧

<学部共通部門・基礎部門>

人間学概論、社会政策論、人間学特講、基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ、心理学の基礎、社会学の基礎、身体科学の基礎

<研究法部門>

心理学研究法 A・B・C、社会調査法 A・B・C、社会学の理論と方法、心理学実験基礎演習Ⅰ・Ⅱ、身体科学実験基礎演習、社会調査演習Ⅰ・Ⅱ、社会統計学、多変量解析入門、質的社会調査法

<専門部門>

<人間発達科目 (A群)>

生命科学
身体活動の科学
発育発達と運動
脳と心
基礎心理学
心の認知科学
認知社会心理学
感情心理学
生涯発達心理学
親と子の発達心理学
生と死の社会学
ライフコースの社会学
健康心理学
動物と人間の心理学
人間発達特講 A・B

<現代社会生活科目 (B群)>

コミュニケーションの心理学
社会心理学
ジェンダーの社会学
現代社会論
親密圏と家族の社会学
生活環境の社会学
都市と地域の社会学
職場の社会学
仕事の社会学
文化の社会学
情報と社会
出版文化論
社会問題の社会学
現代社会生活特講 A・B

<演習科目>

人間科学専門演習Ⅰ・Ⅱ

<卒業論文>

卒業論文

【人間科学科はこんな方におススメ】



人間科学科は広く「人間」に関わる事象について科学的に学ぶことのできる学科です。特に、次のような方に人間科学科をおススメします！

- ①身近な人びとや異なる文化・価値観をもつ人びとの生活や人生に強い関心を抱いている方
- ②「人間」の心理・社会・身体を理解するための実験や調査を自分でも行ってみたい方
- ③家族・学校・職場・地域などで生じる問題や文化・環境・メディアなどのあり方について深く考えてみたい方

【人間科学科のシラバスを検索してみよう】



人間科学科の授業についてさらに詳しく知りたい方は、ぜひシラバスを検索してみてください。シラバスとは、各授業の計画や内容、目標などを詳細にまとめた資料です。普段、学生は履修する授業を考えるとときや毎回の授業の予習復習のためにシラバスを活用しています。大正大学では、学外の方もシラバスの情報をすべてみることもできますので、ぜひ検索してみてください！

★大正大学シラバスの検索方法★

1. 大正大学ポータルサイトT-Po(<https://t-po-web.tais.ac.jp/campusweb/>)にアクセスするか、右のQRコードを読み取り、「Taisho Portal」の画面を開きます。
2. ページ下部の「ゲストユーザーはこちらよりシラバス参照をご利用いただけます。」をクリックするとシラバス検索画面が表示されます。
3. シラバス検索画面でキャンパスを「巣鴨キャンパス」に設定し、時間割所属を「学部共通」に設定すると、開講科目名や教員名でシラバスを検索することができますようになります。



【編集後記】

- ◆ 『らいふみる』2026年版第1号(2026年3月21日発行)をご覧ください、ありがとうございました。今回は人間科学科のカリキュラムの特色をご紹介しました。次号は人間科学科の授業内容とその魅力をお伝えする予定です。どうぞご期待ください。次号以降もよろしくお願いたします。
- ◆ 『らいふみる』は大正大学人間学部人間科学科について知りたい方のためのフリーペーパーです。本冊子の記事や写真などを無断で複製・転載しないようお願いいたします。人間科学科について、詳しく知りたい方は下記のURLか右記のQRコードから学科のブログをぜひご覧ください。
- ◆ 人間科学科ブログ: https://www.tais.ac.jp/faculty/department/human_sciences/blog/

